

病害虫発生予察情報

5 月月報

平成 30 年 6 月 25 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2018 年 5 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	22.6	0	12.6	0.2	17.5	0.3	77	277	53.2	95
中旬	26.1	3.5	14.6	1.5	20.4	2.8	37.5	76	82	170
下旬	25.6	1.4	15.7	1.3	20.6	1.6	18.5	35	62.1	96
平均	24.8	1.6	14.3	1	19.5	1.5				
合計							133	103	197.3	117

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1981～2010 年の平均値）からの差（比）

<天候概況>（千代田区北の丸公園）

- ◎ 気 温：上旬は平年並で、中・下旬はかなり高かった。
- ◎ 降 水 量：上旬はかなり多く、中・下旬は平年並だった。
- ◎ 日照時間：上・下旬は平年並で、中旬はかなり多かった。

上旬：低気圧や前線の影響を受け、曇りや雨の日が多くなり、大雨となった所もあった。期間の前半は南から暖かい空気が入り気温が高くなったが、後半は冷たい空気が入ったため気温が低くなり、気温の変動が大きかった。

中旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、期間の中頃には低気圧や前線の影響により曇りや雨となった。また、期間の後半は南から暖かく湿った空気が入り、気温の高い日が多かった。

下旬：前半は高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、後半は前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。南から暖かい空気が入り気温の高い日が多かった。

2 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：施設トマト、露地果菜類の生育は順調で早まる傾向であった。スイートコーンはおおむね順調な生育であった。枝豆は草丈が低い傾向であった。

葉根菜類：コマツナ、キャベツ、ダイコンの生育は早まる傾向であった。タマネギの生育はおおむね順調であった。

イモ類：ジャガイモの生育はおおむね順調であった。サトイモは乾燥のためか、草丈が低い傾向であった。

(2) 果樹

農総研の果樹圃場（灰色低地土）におけるカキ主要品種の開花期と平年差（カッコ内）は以下の通り。開花始期及び開花盛期ともに、7日～14日早かった。

平核無：開花始 5月7日（－7日）、開花盛 5月9日（－9日）

東京紅：開花始 5月7日（－12日）、開花盛 5月11日（－11日）

次郎：開花始 5月7日（－13日）、開花盛 5月9日（－14日）

松本早生：開花始 5月9日（－14日）、開花盛 5月11日（－14日）

(3) 茶樹

収穫開始は例年並だったが、4月の寒暖差が大きかったため、品種間差、立地条件により収穫期間が広がり5月下旬頃までかかった。生葉収穫量については晩霜害がなかったため畑により例年以上となった農家が多かった。

3 病害虫の発生概況

(1) 果樹の病害虫

ナシ

赤星病	< 並 >	発生は平年並であった。
黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
カメムシ類	< 少 >	予察灯における誘殺数は平年並で、フェロモントラップにおける誘殺数は少なかった。
ナシヒメシンクイ	< 並 >	発生は平年並であった。

カキ

カキクダアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
-----------	-------	-------------

(2) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャハマキ	< 多 >	発生は多かった。
チャノホソガ	< 並 >	発生は平年並であった。

(3) 野菜の病害虫

ジャガイモ

疫病	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ類	< 少 >	発生は少なかった。

トマト（施設・半促成）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
白ぶくれ症	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

キュウリ

褐斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
-----	---------	-------------

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナス		
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ類	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
白さび病	< 並 >	発生は平年並であった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハウレンソウ		
べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
イチゴ (施設)		
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
さび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
キャベツ		
菌核病	< 少 >	発生は少なかった。
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウガ	< 少 >	発生は少なかった。
モンシロチョウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
ネキリムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
(4) 花きの病害虫		
花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
(5) 植木の病害虫		
ツバキ・サザンカ		
チャドクガ	< 少 >	発生は少なかった。
ケヤキ		
ケヤキヒゲマダラアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

八丈島：キキョウランでハスモンヨトウ、アシタバでハスモンヨトウとネキリムシ類の発生が多かった。

小笠原：マンゴーでカイガラムシ類とアザミウマ類、かんきつ類でミカンハモグリガ、トマトでマメハモグリバエ、ハイビスカス・オクラ・ナスでフタテンミドリヒメヨコバイの発生がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	5月10日	6月14日	0	0
大田市場	5月10日	6月14日	0	0
板橋市場	5月10日	6月14日	0	0
淀橋市場	5月10日	6月14日	0	0
北足立青果市場	5月10日	6月14日	0	0
青梅青果市場	5月8日	6月7日	0	0
八王子北野市場	5月8日	6月7日	0	0
多摩ニュータウン市場	5月8日	6月7日	0	0
国立市場	5月8日	6月7日	0	0
東久留米市場	5月11日	6月7日	0	0

病害虫防除所ホームページ

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/>
病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、防除のポイントなどをお知らせしています。